

## 平成 28 年度事業評価コメント記入シートに関する運営審議会委員の意見

## 【全体を集約した意見（案）】

	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(案)	<p>運営方針に基づいて堅実な事業展開を行っている。その一方、事業の成果を見極め、満足度が高い事業については拡大を、また既存事業を見直し、地域の要望を取り入れ、新規事業を実施する必要がある。延べ参加者数が減少傾向にあり、奮起を望む。</p> <p>コミュニティ・コーディネーター養成講座は地域活動の新たな担い手を発掘・育成することがねらいであるが、まさに地域課題であり、さらなる発展を期待している。</p> <p>家庭教育の振興に関する事業は充実しており、ボランティアスタッフの養成への取り組みも今後の事業展開に生きてくると思われる。さらに大学等との連携が図れば、次世代の人材育成や連携強化が期待できる。</p>	<p>時代の要請や地域住民のニーズをキャッチし、既存事業を見直し、新規事業の立ち上げ等により、参加者が大幅に増えたことは高く評価できる。中学生の企画による講座は当人たちにとっても大きな自信となったと思われる。</p> <p>高齢者の健康増進支援の事業は、学習・社会参加支援につながる。さらに地域との繋がりが深まるよう望む。</p> <p>人が集まるからという発想ではなく、自分も受けたい講座を企画すると良い。</p> <p>興味がわくような事業内容の工夫・チラシの工夫を感じる。</p>	<p>三世代交流は地域が主体となってきており、地域に定着しているようだ。一方、公民館事業として、また施設としての限界も感じる。</p> <p>子育てサロンについて、親子の居場所は大切であり継続して欲しいという意見がある一方、近くのコミセンへの移行も可能だ、との意見もある。東区全体という観点からの検討が必要である。</p> <p>木戸公民館の事業や館の存続については、利用者や地域の意見も踏まえたうえで考えなくてはならない。</p>

委員	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(大桃委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には、少ない予算とスタッフの中で堅実に事業を展開している</li> <li>・公民館は絶えず地域住民の要望をキャッチしながら、既存の事業を見直し新規事業を立ち上げていく必要がある。</li> <li>・「地域デビュー応援講座」はこれからの公民館にとって大切な事業であるが、参加者、欠席者が少なかったのは残念である。</li> <li>・「セカンドライフ農業体験講座」は、初年度の反省をいかして順調にいったということは評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の要請や地域住民のニーズをキャッチし、既存事業を見直し、新規事業の立ち上げ等により、参加者が大幅に増えたことは高く評価できる。</li> <li>・「茶の間の学校」を前期と後期に開き、その開校記念講演会を開催し多くの参加者を得たことは評価できる。</li> <li>・「アクティブシニア運動教室」の二つの事業は高齢者の学習・社会参加支援の魅力的な事業として評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木戸公民館の事業については、さまざまな視点から検討・吟味していく必要がある。</li> </ul>
(萑澤委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サークル活動でふれ合おう」はとても良いと思います。サークル活動の運営に中学生のボランティアを募れば小中学生の交流の場となり、なおよいと思います。</li> <li>・「小学生期家庭教育学級」は重要な意味を持つと思います。より多くの保護者が参加できるよう小学校でも広報をするとよいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「青少年の生きる力を育む事業」は異年齢や違う学校との交流を目指していてとても意味のある活動だと思います。</li> <li>・「現代的課題を探り解決を支援する事業」はかなり重要な事業だと思います。私は石山地区に住んでおりますので個人的にも参加したいと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子の居場所サロン」はとても大切だと思います。ぜひ継続してください。</li> </ul>
(遠見委員)	<p>受講者の満足度が95%を超える事業にあつては、ヒアリング等を行いながら事業の拡大を考えるべきである。</p>	<p>受講者の満足度が95%を超える事業にあつては、ヒアリング等を行いながら事業の拡大を考えるべきである。</p>	<p>アンケートが未実施の事業については、可能な限りアンケートをとる必要がある。</p>

<p>(安原委員)</p>	<p>平成 28 年度事業評価シートを見ると、気付くのは目標値に対する結果の値は高く、されど館長評価は低いと言う点だ。1から6までの全てで共通していることだ。これは一体どう考えれば良いのかさっぱり分からない。しかもABCと四段階ある評価基準を全く無視するかのように、25の事業評価はBとされる。この件に関して昨年誰か委員が指摘していた。それも忘れたかの様に同じ轍を踏んでいる。石山地区公民館は、Aも有ればBもD有る訳で、中地区公民館だけBしかないと言うのは、全く理解に苦しむ。万事無難にやり過ごそうと言う、役人根性のなせる技以外の何物でもないと言わざるを得ない。鷲尾館長にやる気は有るのか？そもそも館長の能力は備わっているのか？平成 29 年度の事業計画を見た時、28 年度と全く同じであると指摘したが、更にその前を調べてみると迂闊だった。前から同じことを繰り返していたとは。H26 年度の執行事業数は40であり、参加人数は 13309 人だった。それがH27 年度の事業数は35で、参加人数は、12964 人、H28 年度の事業数は30で、参加人数は 12215 人。どうしてこれだけ事業数が減るのか、やる気がないと言わざるを得ない。減るだけでなく新たな事業計画が皆無な事は万死に値する。職員にしても、毎年事業</p>	<p>1の地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業について、まずどうしてお茶の間に集まるのかという処が基本的に理解できない。毎回毎回お茶の間に集まってどうにかなるのだろうか？有ったら具体例を聞きたいと思う。単に人が沢山集まるからという観点からだけで見ると目的を見失ってしまうだろう。何十回も開催していながら新たな活動を始めた人が数人だったら効率が悪すぎる。零よりは良いのだろうか。「茶の間」企画は、簡単に人を動員できるから、全国的に広まっただけだと思う。何回か通っていた人から聞いた話によれば、年寄りでも何でも無い背広姿の会社員風の人間が必ず来ていると言う。それも一人ではなく、複数人間が通ってくるようである。その目的は、老人から何かしら利益をせしめようとする会社・団体が有ることを肝に銘じておかなければならない。4の青少年の生きる力を育む事業では、中学生から体験学習の企画を任せてお菓子作り講座に繋がったと有る。これは企画した当人たちに大きな自信となったことだろう。館長評価も高くて子供たちのはつらつとした姿が目には浮かぶようである。参考になるかどうかは分からないが、「どんな講座が望まれるのだろうか」と考える時、どんな講座をしたら沢山動員できるだろうか？と言う観点か</p>	<p>昨年と同様で、一刻も早く閉館すべきである。</p>
---------------	--	--	------------------------------

	<p>数が激減して行く現状では、意欲の湧くはずがない。結論的に言えば、同じ事業すらも継続できずに、ひたすら減るだけの公民館なのである。これが大多数の新潟市公民館の現状なのだろうか？</p>	<p>ら物を見てはいけないと思う。私自身が講座の企画を幾つも立てそれなりの成果を上げることが出来たのは、自分自身が受けたい講座を企画して来たからだと思う。自分に興味が無いにも関わらず、これなら動員できそうだとする不純な動機だとうまくいく訳が無い。自分で興味が有ることなら関係者への接し方にも熱が入るし、結果的にうまくいくのではないだろうか。興味の強い人の話は説得力が有るから大きな力となるのだ。</p>	
(井上委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティ・コーディネーター育成講座」前例踏襲に陥ることなく企画を工夫し、満足度が高まった。</li> <li>・「大形ぼてっ子サークル」 広報の工夫；市報の特集や、学校へのチラシ追加配布により参加者増加。</li> <li>・「ちいきのサロン・このゆびとまれ」公民館が実施する意義が認められる（地元の開く茶の間と違い、住民とのしがらみがなく楽しいとの意見が寄せられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東中野山小学校ふれあいスクール公民館 出前型「野点」 教育コーディネーターと連携を図ることにより、成果に繋げ、アンケート実施により、しっかりと実情の把握ができ、次へ繋げることができた。</li> <li>・「石山あそび隊(番外編)」の夏休み体験事業では、体験学習参加の中学生に講座の企画をしてもらうなどして、より効果的な講座開催となり、次年度を見据えた形となった。</li> <li>・「現代的課題を探り解決する事業」市民の要望や意見を把握し、これまでの内容を一新したところ参加者が倍増となった。新規事業の有効性が大いに示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽芸能祭」は木戸地区のイベントとして定着している。 育成協議会・PTA・学校と連携し、共催事業としていくのはどうであろうか。</li> <li>・「木戸っこクラブ」は東区の公民館活動全体の中で、具体的にどこが“子育て支援・親支援・仲間づくりの場”の提供をしていくのかビジョンを示さなければならない。</li> </ul>
(丸山委員)	<p>1. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業の「農業体験」は前年度に続き盛況です。高</p>	<p>1. 全体的に新しい事業の取り組みも進んでおり、満足度の高い事業も増えており、努力</p>	<p>特になし</p>

	<p>齢者の健康増進支援の事業として発展させてください。</p> <p>2. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業、「地域活動の新たな担い手の発掘・育成」は地域のコミ協、自治会にとって喫緊の課題です。地域課や地域コミ協等との連携を密にして、企画委員の派遣要請や講座内容編成に積極的に参加してもらい、併せて参加者募集にも協力を得て実のあるものにしてください。</p> <p>3. 人気があった「孫育て」講座が無くなったのは残念です。</p>	<p>に感謝します。高齢者の健康増進支援の事業の中には人気事業もあり、費用等ご苦勞も多いと思いますが、さらに発展させて地域と公民館の繋がりを深めてください。</p> <p>2. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業、「地域活動の新たな担い手の発掘・育成」は地域のコミ協、自治会にとって喫緊の課題です。地域課や地域コミ協等との連携を密にして、企画委員の派遣要請や講座内容編成に積極的に参加してもらい、併せて参加者募集にも協力を得て実のあるものにしてください。</p>	
(高橋委員)	<p>必要性、有効性、効率性ともよい評価であるが、館長評価が全てBであり、Aになるものがあるとよいと思う。しかし、AとBの境で難しいものがあるのかと思う。</p>	<p>事業拡大する評価が5つあり素晴らしいと思う。29年度への公民館の飛躍が感じられる。</p>	<p>現状況で十分な評価であると思う。</p>
(小浜委員)	<p>益々増える高齢者に対して地域とのかかわりや生きがいを持ってもらうための事業に継続して取り組むのは良いことと思う。</p> <p>ボランティアスタッフ養成にも熱心な取り組みをみせているのは今後の際にも大いに役立つし、若いお母さんたちも安心して受けたい事業に参加出来る良い試みだと思う。その際には大学等の連携も重要と思うので、地域的にも中地区は恵まれているのではないかと思います。</p>	<p>長く続いている子育てサロンをこれからも続けていくには何が大切か少ない予算の中で参加者の声にも耳を傾け、より息の長い事業にしていかななくてはならないと思う。学習のスペースの解放など夏休み等の対策も見られるが出来ればもう少し小学生・中学生を取り込んだ企画があるともっと良いのでは。</p>	<p>初めて現地に行かせて頂いて、正直想像以上のものがあつた。ここに到るまで歴史を鑑みると私たちの考えや事情だけで廃止してよいものかと思うが、肝心の利用者の意見をも踏まえて無理のない決定をしなくてはならないことと思う。</p>

<p>(石井委員)</p>	<p>・多くの事業をきちんとした方針のもとで実施されていると感じました。・前年度と比べて変化が少ないとの意見もありましたが各事業を継続的に実施し、数年の単位でその成果を見極めていくことも大切であると考えます。・学校や実家の茶の間との連携はとても重要であり、より強化されることを望みます。</p>	<p>・新たな試みやきめ細やかな工夫によって諸事業を成功させたことに感服いたしました。・特にチラシやパンフレットの工夫が素晴らしく、その影響もあって参加者の増加につながっているものと思われます。・何より公民館と地域コミュニティの信頼関係がきちんと形成されていることは最高の業績だと思います。</p>	<p>・初めて現場を拝見し、施設の老朽化、交通の便の悪さを実感しました。・確かに使い勝手の良い施設ではなく、採算もとれないでしょうが、「館」が存在するために、利用する方が何かを得ていらっしゃるのであれば、安易に廃止を考えることなく、基本的には存続を前提に合理的に維持の方法を考えてはどうかと思います。</p>
<p>(津野委員)</p>	<p>地域デビュー応援講座はいろいろな所で新たな担い手探しが難しくなるなかで、大事な事を学べるとも重要な場ではないかと思えます。初回の反省をふまえてさらなる発展を期待したいと思います。          幼児期の家庭教育や子育てサロンなどとても充実しているのだなと思いました、さらにここに学生などが加わり学びの場となっているのはいろいろな「つながり」となりとてもいいと思います。          大人向けの学びの講座がもう少しあるといいのではないかと感じます。</p>	<p>新規事業もいくつかあり、また事業の中身もいろいろな工夫がされていて、とてもすばらしいなあと感じました。          チラシも見せていただきましたが、興味がわきそうな工夫もされているし、また講座もちょっと行ってみようかなと思えるものがテーマになっているように感じました。          評点を見てもどれもほぼ適切、十分であり、さらに次年度以降の取り組みに期待したい。</p>	<p>三世代交流などは公民館事業から地域が主体になってきているように思います。公民館としての事業をこれ以上展開していくには施設的にも限界のように感じました。          木戸っこクラブの活動も近くのコミュニティセンターへの移行などで対応可なのではないでしょうか。</p>

平成28年度事業評価シート(中地区公民館)

総事業数(30) 1. コミュニティ(4) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(11) 4. 青少年(5) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(1) 7. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	4 事業				2 事業				11 事業				5 事業							
ねらい	①地域活動の担い手のスキルアップやネットワーク作り ②地域活動の新たな担い手の発掘や育成 ③地域課題の発見と解決(に向けた会議・講座を開催)				①学校や地域と連携し, 子どもや住民のための事業を展開 ②児童が公民館のサークル活動を体験し, 大人と交流するとともに興味を育む				①保護者が子の発達段階に応じた育て方などを学ぶ ②保護者同士の交流や仲間づくりの場を提供 ③乳幼児の体験や学びの場, 居場所を提供				①体験活動により, 自ら考え自ら取り組む姿勢を育む ②異年齢の集団の中で, 協調性や社会性を身に着ける ③家庭と学校以外に安心して過ごせる居場所を提供							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	無	—		サークル結成数	無	—		サークル結成数		2		サークル結成数	無	—					
	企画委員希望者数				企画委員希望者数				企画委員希望者数		6		企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	90%	CC育成講座, 地域のたからでアンケート	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	ぽてっ子でアンケート	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	8事業でアンケート	受講者の満足度(平均値)	94%	94%	将棋, ぽてっ子でアンケート				
	受講者の気づき(平均値)	80%	86%	CC育成講座でアンケート	受講者の気づき(平均値)	80%	—		受講者の気づき(平均値)	80%	89%	4事業でアンケート	受講者の気づき(平均値)	80%	—					
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等								
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.7	地域活動を担う人材は, 地域から強いニーズがある			必要性(平均値)	3.5	公民館の施設・事業を小学生に体験してもらう良い機会である			必要性(平均値)	4	悩みの共有により, 負担軽減・子育てにおける自己肯定につながっている。			必要性(平均値)	4	仲間と相談し, 作り上げる経験が自己肯定感を高める機会となっている		
	有効性(平均値)	3.7	新たな人材の発掘に有効である			有効性(平均値)	3	サークルの会員の活動の励みともなった。			有効性(平均値)	3.5	幼児期・小学生期は企画委員による企画運営を行い, 人材育成の機会になっている。			有効性(平均値)	3.8	他の学年との交流や, 企画運営の大学生の人材育成が図れる		
	効率性(平均値)	3.3	企画委員やボランティアの協力で事業を運営できている			効率性(平均値)	4	サークルの負担を考慮し, 講師謝礼を支払った。			効率性(平均値)	3.9	企画委員やボランティアの協力で事業を運営できている。			効率性(平均値)	4	学生ボランティアのほか, 地元の商店等からの協力もあった。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	コミュニティ・コーディネーター育成講座(CC講座)について, 初回の雰囲気固くなり, 内容が難しく感じた受講生が辞退したこともあった。来年度は固くならないように内容や運営をしたい。				受け入れサークルの会員の高齢化などにより, 事業の実施が年々難しくなっている。協力サークルの見直しを図るなど, 工夫していきたい。				当館は家庭教育関連に力を入れ, 多くの事業を行っている。いずれも受講生に好評である。今後も企画委員やボランティアスタッフの意見を取り入れながら, 関心の高い内容など取り入れていきたい。				広報について, 夏休みの事業は市報の特集で集まった。冬休みは学校へのチラシを追加で配布し, 集まった経緯を次回にも生かしたい。ホットプレイスのポスターを地元の中学校の美術部に今後も依頼したい。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		4				2				11				5						
評価区分	<コメント> CC講座は今回, 学校活動の支援者の発掘・養成という観点を入れて構成。前例踏襲に陥ることなく企画を工夫しており, たいへん良い。受講者の満足度も高かった。				<コメント> 公民館サークル体験は, 桃山小の児童が楽しみにしている事業である。サークル側も指導を励みに, 子どもたちと楽しく時間を過ごしている。サークルの負担が過大にならないよう, 配慮が必要。				<コメント> 少子・超高齢化が進む中, 公民館が実施している子育て支援事業は重要である。勉強しながら, 良質な講座の提供に努めたい。				<コメント> 子どもの居場所として1階フリースペースを提供している。小学生は放課後や土日の遊び場として, 中学生や高校生は勉強の場として利用してくれている。ぽてっ子は, 1泊キャンプで子どもに大人気である。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2 事業 農業体験講座, 地域の茶の間				1 事業 ボランティアスタッフ養成			
ねらい	①中高年の生きがいづくり, 仲間づくり, 健康づくり ②家に閉じこもりがちな高齢者の社会参加 ③経験, 能力を生かした生きがいづくり				(他の重点化項目に属さない内容で, かつ現代的な問題に対処するための事業を実施) 子育て支援ボランティアの養成, スキルアップ			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	無	—		サークル結成数	無	—	
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	セカンドライフでアンケート	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	子育てサロンボランティアスタッフ研修会でアンケート
	受講者の気づき(平均値)	80%	91%	セカンドライフでアンケート	受講者の気づき(平均値)	80%	92%	子育てサロンボランティアスタッフ研修会でアンケート
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3.5	高齢者の生きがいづくりにつながっている。		必要性(平均値)	3	地域での子育て支援のスタッフ育成は今後も必要。	
	有効性(平均値)	3.5	参加者の評判はよく, 内容・方法について有効であった。		有効性(平均値)	4	民生委員・社協との連携がある。	
	効率性(平均値)	3.5	農業体験講座は準備作業等手間がかかる。		効率性(平均値)	4	サロン開催時のスタッフの意見を反映している。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	農業体験講座は, 害鳥被害の経験を生かすことができた。また, 受講終了生の農地利用によるフォローアップも行った。ちいきのサロンは, スタッフの自主性を生かし, 運営していきたい。				関係スタッフが集まる貴重な機会であり, 今後も研修での気づきを地域に還元していきたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				1		
	<コメント>リタイア後の野菜作りは, 畑に通うことや大空の下での作業で心身両面の健康づくりに効果が高い。ちいきのサロンは, 地元の開く茶の間と違い, 住民とのしがらみがなく楽しい, という意見が寄せられていて, 公民館が実施する意義が認められる。				<コメント>子育てサロンは子育て支援ボランティアの献身で成り立っている。新たなボランティアの発掘や資質向上を図り, また交流により良好な人間関係を築くためにも, 研修会を継続する必要がある。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

東区公民館 運営審議会委員意見

- 評価の観点
- 【必要性】
  1. 意図することが結果に結び付いている
  2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
  3. 市が税金をかけて行う必要がある
  4. 事業の目的, 成果から見て, 対象や事業の狙いを見直す必要はない
  5. この事業を廃止した場合, 支障がある
- 【有効性】
  1. 達成度は満足できる
  2. 成果指標の目標値を達成するために, 事業内容や集団は適当だった
  3. 他機関との連携が図られている
- 【効率性】
  1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
  2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
  3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
  4. 参加者の実費負担額は適当だった

- 館長評価
- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止



平成28年度事業評価シート(石山地区公民館)

総事業数(36) 1. コミュニティ(7) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(9) 4. 青少年(5) 5. 高齢者(3) 6. 現代的課題(4) 7. その他(6)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	7事業 超高齢対応, 地域の絆				2事業 学・社・民の融合, 出前講座				9事業 家庭教育学級, 子育てサロン				5事業 体験活動, 居場所							
ねらい	コミュニティ協議会と連携して, それぞれの地域の課題を確認し解決方法を探るとともに地域の活性化へ繋げる。そのほか, 市・実家の茶の間との三者協働により地域の居場所づくりやお互いさまの人間関係づくりを学ぶ				学校, 地域, 公民館が一体となり, それぞれの良さを認め合い事業を推進していくことの大切さを学ぶ。学校と地域がつながることで子どもたちをあたたく見守る気運が生まれることをねらいとする。				乳幼児の子どもと身体の成長発達を学びながら同世代の子どもを持つ親同士交流を深め, 子育てについての不安や悩みを軽減するとともに, 人と繋がり仲間をつくる機会となるよう支援する。				様々な体験活動をとおして, 子どもたちの豊かなところをはぐむための事業を展開する。また, 異年齢や違う学校の子どもの交流の場になるよう支援する。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	無			サークル結成数	無			サークル結成数	有	3	リーダー的存在がいて, グループ化ができた。	サークル結成数	無						
	企画委員希望者数		17	受講を通じ, 自身の参画したいという意欲にもつながっている	企画委員希望者数				企画委員希望者数		18	受講を通じ, 自身の参画したいという意欲にもつながっている	企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	受講生の満足度は非常に高かった。	受講者の満足度(平均値)	80%	80%	楽しかった・満足しているとの回答だが今後は数値化したい。	受講者の満足度(平均値)	80%	99%	100%の満足度が3事業あり, 全体としても高い数値であった。	受講者の満足度(平均値)	80%	99%	受講者の満足度は非常に高かった。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	90%	伴創幸笑会での気づきが100%と高かった	受講者の気づき(平均値)	80%	85%	95%の児童が今後地域であいさつや話ができそうと回答し成果があった。	受講者の気づき(平均値)	80%	91%	学習意欲が高く, グループで学習を継続していく意欲が見られた。	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施				
その他成果(品)及びその活用等					その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			世界に一つだけの本・お菓子 牛乳パックを活用したオリジナル絵本を作り, 夏休みの宿題としても好評だった。バレンタインのお菓子作りもお土産になり好評だった。				
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.2	コミ協事業共催事業へ企画段階から関わることで必要性が増す。			必要性(平均値)	4	学社民の連携は重要であり, 今後も継続して行う必要がある。			必要性(平均値)	3.9	意図したことが十分結果に結びついている。			必要性(平均値)	3.8	意図したことが十分結果に結びついている。		
	有効性(平均値)	3.4	コミ協事業共催事業での内容について検討が必要。			有効性(平均値)	4	学社民の融合により, 地域の人たちの協力・参加を得られ			有効性(平均値)	3.6	達成度は満足いく結果であり, 継続した実施が必要。			有効性(平均値)	3.6	達成度は満足いく結果であり, 継続した実施が必要。		
	効率性(平均値)	3.5	担当の事務分担等も考え, 今後はさらに効率化を図る。			効率性(平均値)	4	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。			効率性(平均値)	3.7	この事業に費やした労力・時間は適正だった。			効率性(平均値)	4	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	伴創幸笑会は事業実施までの周知期間が短かったこともあり, 参加人数が定員に満たなかった。地域の課題の解決を考える事業のため, 今後は計画的に広報を行い, より多くの方の参加を促したい。茶の間の学校は前期に定員を超えて受け入れたことも関係し, 時間が不足したため, 後期に定員を絞り, 学習時間も延長することで学びを深めることができた。				東中野山小学校との連携事業の参加者が年々減少しているため, 今年度は新しく児童による「野点」に変更し, 参加者の増加へ繋げた。また, 今年度はアンケートも実施し, 参加者の満足度も高いことがわかった。チラシも公民館で作成し, 共催の役割を果たしている。今後は, 公民館サークルの出前講座等も視野に入れ, 検討する。				幼児期家庭教育学級の人気が高く, 予算状況をみながら追加で特別編を実施した。保育室(和室)のスペースの関係から保育定員と受講定員を一致させられないのが難点であるが, 幼児期や乳児期以外の講座でも保育付きの要望は高いため, 次年度以降の実施に繋げたい。				夏休みの体験事業は人気が高く, 調理実習などは全員受け入れられないものもあった。ヒップホップは次年度から文化祭での発表までを見据えた形の開催とし, 学びの還元を図りたい。また, 今年度は体験学習の中学生に講座の企画をしてもらい, お菓子づくりの講座を開催した。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		3		4		2				9				3	2					
館長評価	<コメント>「茶の間の学校」の三者協働の取り組みは全国的に注目を集め, 成果も大きいものがあったが, 全学的な展開を図るため次年度当館では開催しない。今後はコミ協をはじめとした諸団体と連携をはかり, 事業を進めていきたい。				<コメント>地域住民と児童, 生徒が交流できる場をもつことは非常に重要である。今年度は教育コーディネーターとの連携をうまく図りながら事業の実施ができ, 成果に繋がった。連携対象校を拡大していくなどの取り組みも次年度は行いたい。				<コメント>家庭教育学級は親にとって, 自身の学び・仲間づくりに必要かつ重要である。また, 受講者がその後にサークルを立ち上げたり, 非常勤嘱託や講師の道へ進むなど, 公民館での学びをきっかけにその後の活動が大きく変わるものになっていることから継続して取り組むべき事業である。				<コメント>学年も学校も違う子供たちが交流できる夏休みの子どもあそび隊事業はコミュニケーション能力の向上にも非常に有効な事業であると考え。お菓子作り講座では自分たちの企画が実現するという部分でのやりがいにもつながることができたと考える。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	3事業 遊わ塾、アクティブシニア				4事業 人権教育、人間関係づくり、QOLの向上			
ねらい	高齢者が増加し、平均寿命がのびている中、QOLの向上をめざし、退職後の生きがいづくり、仲間づくり、身体づくりを同時に行える事業を実施する。				様々な市民のニーズに応えるために多種多様な事業を展開する。必要課題と要求課題をきちんと把握し、市民にとっても公民館にとってもより良い事業を実施する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	有	2	活動協力員・担当が講座をまとめあげ、自主グループ化に繋がった。	サークル結成数	無		
	企画委員希望者数		9	講座受講者の意欲も高く、サークル化への大きな力となった。	企画委員希望者数		4	受講が自身の参画意欲の向上にも役立っている。
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	全事業で100%の満足度であった。	受講者の満足度(平均値)	80%	97%	全事業で満足度が非常に高かった。
	受講者の気づき(平均値)	80%	65%	気づきの点では評価を下回った。	受講者の気づき(平均値)	80%	98%	全事業で新たな気づきの度合いが高かった。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。		必要性(平均値)	3.5	見直しを図るべき部分もあるため若干低い数値となった。	
	有効性(平均値)	3.3	運動を実習で学ぶことから気づきの達成度が若干低くなってしまった		有効性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。	
	効率性(平均値)	4	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。		効率性(平均値)	3.7	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	昨大大変好評だった健康体操の講座を実施したところ短時間で募集定員に達したため、急遽追加で夕方のホールの稼働がほとんどない時間に集客できるかテストを兼ねて開催した。結果的にどちらも好評でサークルの立ち上げに繋がった。遊わ塾も男性の活動への参加を促すため「混声合唱」の形態での開催にし、サークル化へ繋がった。				現代的課題を探り解決する事業であるので、市民の方の要望や意見を把握する必要がある。働く女性を対象とした講座を新規で企画したところ、日頃、公民館を利用しない世代が参加した。ご近所だんぎは内容を一新したところ参加者が200人以上増え、ほぼ倍となった。かたづけ術は募集初日で満員となり、男性の参加希望もあったため対象の拡大が必要と考える。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
	1	2			1	3		
	<コメント>遊わ塾は活動協力員・担当の積極的な働きかけもあり、サークルとして活動を継続している。また今回はアクティブシニアでも担当の働きかけでサークルが結成された。どの講座も満足度が高く高齢者の体力づくり・仲間づくり・社会参加の面で有効であったと考える。				<コメント>人権講座ではLGBTをテーマに取りあげ必要課題の講座も実施できた。かたづけ術・美活いろは塾など今まで公民館を利用しなかった年代・層の参加者があり、新規事業の有効性を感じられる結果であった。今後も自己の変容・課題解決に繋がる講座を開催したい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

東区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度事業実施状況(中間報告 10月末現在)

資料2

中地区公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~10月)				今後実施予定(11~3月)		連 携				備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア等	
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	コミュニティ・コーディネーター育成講座「東区みらいサポーター養成講座」	コミ協役員等、地域活動の担い手のスキルアップやネットワークの拡大、及び新たな地域活動の担い手の発掘と育成を図る事を目的に、連続講座を開催。11月7日より実施。	成人	11月~12月					5	午前	○				石山地区公民館、東区地域課との共催
	2	コミュニティ協議会等との共催事業「簡単！懐かしい！おもちゃづくり」	地域住民の多世代交流を目的に、山の下・桃山コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催で、祖父母世代を対象にした工作体験等を実施。	総合	6月	1	午後	17					○			山の下・桃山コミ協、山の下まちづくりセンター
	3	コミュニティ協議会等との共催事業「世代交流！夏の子どもフェスティバル」	地域住民の多世代交流および山の下まちづくりセンターの認知度アップを目的に、山の下・桃山コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催で、夏まつりを開催。	総合	7月	1	午後	177	177					○		山の下・桃山コミ協、山の下まちづくりセンター
	4	コミュニティ協議会等との共催事業「ビニールでかんたん たこづくり」	地域住民の多世代交流を目的に、山の下・桃山コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催で、孫世代を対象にした工作体験等を実施予定。	総合	12月					1	午前			○		山の下・桃山コミ協、山の下まちづくりセンター
	5	地域のたから再発見事業	地域学習サークル「中地区地域楽」と連携し、地域への関心を高め理解を深める学習会を実施。8月3日に「東区のみかし語り〜かつて伝説あつたてんがの」、9月30日に「山の下今昔まちあるき〜輝いていた昭和の時代」を実施した。12月25日に「冬休みスペシャルおはなしと映画会」を実施予定。	総合	8・9・12・2月	2	午前	37	37	2	午後・夜間					中地区地域楽
2. 学・社・民の融合	6	ふれあいスクール公民館出前型「大形ぼてっ子サークル 特別編 味噌づくり体験」	大形中学校PTAと共催し、保護者と地域の大人による味噌づくりと味噌を使った料理教室を開催し、食育についての意識啓発を図るとともに地域の交流を行う。	成人	6月・11月	1	午前	18	18	1	午前		○	○	○	大形中、大形民生委員、運営委員
	7	サークル活動でふれ合おう(桃山小学校総合体験学習)	桃山小学校3年生の総合学習として、公民館見学やサークル活動への参加を通じて児童と地域の人々とのふれ合いを深めることを目的に実施。5月31日・6月28日・7月12日・9月13日に実施。手話・茶道・生け花・将棋・卓球サークルと桃山小学校3年生がサークル体験を通じて交流した。	総合	6月~9月	4	午前	178	453				○			桃山小学校
3. 家庭の教育力向上	8	乳児期家庭教育学級(第2期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりの場となる連続講座を開催。	成人	6月~7月	6	午前	14	75			○				中央図書館
	9	乳児期家庭教育学級(第4期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりの場となる連続講座を開催。	成人	1月~2月					6	午前	○				中央図書館
	10	幼児期家庭教育学級	「うちのママは世界一！見つけよう笑顔になっちゃう子育て法〜」 幼児の保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催。	成人	5月~6月	5	午前	27	115							企画・実行委員6人
	11	幼児期家庭教育学級(単発)	「うちの未来予想図〜ママのための♡ライフプラン講座〜」 幼児の保護者を対象に、単発の講座を開催。	成人	7月	1	午前	21	21							企画・実行委員6人
	12	幼児期家庭教育学級「親子のびのび広場」	幼児の保護者の学びと交流の場として、また子どもの成長の場として、親子あそびを実施。父親が参加しやすいよう土曜日に開催し、子育てへの参画を促す機会とする。	総合	1月~2月					2	午前				○	
	13	双子・三つ子のための家庭教育学級	双子、三つ子の年齢に応じた発達理解と子ども間の関係性を学ぶ。また、日々の子育ての悩みや不安の軽減につながるよう、話し合いを通じて仲間づくりや自分自身の生き方を考える機会とする。	成人	3月					2	午前					
	14	小学生期家庭教育学級	小学生期の子どもの発達課題や接し方、親のあり方等について学ぶ、連続講座を開催。11月11日・11月17日・11月24日・12月5日に実施。	成人	11月~12月					4	午前				○	
15	保育連絡会	各事業の保育室運営を円滑に行うための、保育者との情報交換会を開催。	成人	4月	1	午前	6	6								
16	子育てサロン「ひだまり」	ボランティアスタッフの協力により、保育室を会場に未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。保健師の育児相談や絵本の読み聞かせなどを実施。	総合	4月~3月	29	午前	平均 16.0	464			○			○	東区健康福祉課、山の下図書館、活動協力員	
17	子育てサロン「ひだまり」スペシャル	子育てサロン「ひだまり」を周知するために、単発のイベントを開催。10月26日に「人形劇3びきのこぶた」を実施。	総合	10月	1	午前	49	49						○	人形劇サークル「みっくすじゅうす」	

平成29年度事業実施状況(中間報告 10月末現在)

資料2

中地区公民館																		
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~10月)				今後実施予定(11~3月)		連 携				備考		
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア等			
	18	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」	ボランティアサポーターや大形地区の民生委員の協力により、大形まちづくりセンターを会場に、未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。	総合	4~3月	23 自由参加	午前	平均 9.8	225	16 自由参加	午前				○	○	大形民生委員	
	19	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」スペシャル	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」を周知するために、単発のイベントを開催。7月5日に「わいわい元気に！七夕運動会」を実施。	総合	7月	1	午前	18	18						○	○	大形民生委員 学生ボランティア	
	20	おはよう朝ごはん料理講習会	早寝早起き朝ごはん運動の推進を目的に、親子を対象に栄養バランスを考えたメニューの調理実習を開催。(桃山・大形で実施)桃山小学校区では11月19日に開催。	総合	11月、3月					1	午前				○		桃山小学校区コミュニティ協議会・大形小学校区コミュニティ協議会	
4. 青少年の生きる力育成	21	ジュニア将棋教室	日本文化としての将棋を学ぶとともに、基本的な礼儀や社会的なルールを身につけることを目的に、連続講座を開催。	少年	4月~3月	10 連続講座	午前	35	154	9	午前					○	日本将棋連盟・新潟市将棋普及協議会、学生ボランティア(新潟大学将棋部)	
	22	少年体験事業「きらきらチャレンジ」	調理実習や工作などの体験活動を通して、自ら考え取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。7月25日は「新潟の木でつくる白鳥モビール」、8月19日は「モーターで動く！プランカー&カーレース」を実施した。12月26日は「アグリクラフト稲わらでつくるお正月かざり」を実施予定。	少年	7月、8月、12月	2 毎回募集	午前	36	36	1	午前							
	23	子ども学習会	①定時に公民館に通うことで、長期休暇中も規則正しく過ごす習慣をつける。②学校から出された宿題をやりきること、休暇終了後に自信を持って学校に行けるようにする。夏季は8月1日~4日の4日間、山の下小・桃山小5・6年生を対象に実施。冬季は12月25日~28日の4日間、同小学校4・5・6年生あてに募集予定。	少年	8月・12月	4 連続講座	午前	8	29	4	午前						新潟県生涯学習推進協会	
	24	青少年の居場所事業「ホットプレイス」	学校や家庭以外に、子どもたちが安心して居る「居場所」を設ける。また地域の大人と子どもがふれあえる場とする。	少年	4月~3月	207 自由利用	午前・午後・夜間	平均 18.1	3753	140	午前・午後・夜間							
	25	学習室開放事業	青少年の個人学習の支援を目的に、公民館の会議室を学習スペースとして提供する。	少年	4月~3月	95 自由利用	午前・午後・夜間	平均 2.7	259	41 自由利用	午前・午後・夜間							
	26	少年体験事業「大形ぼてっ子サークル(連続版)」	体験活動を通して自ら考え、取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。キャンプや工作体験などを連続講座で開催。	少年	6月~9月	4 連続講座	午前・午後・夜間	31	98									学生ボランティア
5. 高齢者の学習・社会参加支援	27	セカンドライフ農業体験講座	退職する世代の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを目的に、農業体験講座を開催する。	成人	4月~10月	7 連続講座	午前	19	124									
	28	ちいきのサロン「この指とまれ」	中高年の社会参加を促し、交流の輪を広げること、個人の経験や能力を生かし、生きがいを持って生活できることを目的に開催。公民館版の「地域の茶の間」であり、自由な歓談を中心に、ときどき講演会やイベントを実施。	高齢者	4月~3月	14 自由参加	午前	平均 16.4	230	9 自由参加	午前					○	活動協力員	
	29	老化STOP！健康づくり体操	体操を通して、健康を意識する機会を提供するとともに、交流の輪を広げ、仲間づくりを図る。12月11日に実施。	高齢者	12月					1	午前	○						高齢者支援課
7. その他	30	東区子育てサロンボランティアスタッフ研修会(養成含む)	東区子育て支援ボランティアを対象に研修会を開催し、ボランティアのスキルアップとともに情報交換と交流の場を提供する。11月7日・11月14日・11月21日に実施。	成人	11月					3	午前							石山地区公民館と共催
	31	文化祭	公民館の定期使用団体(サークル)の作品展示、音楽芸能活動の発表会。10月29日の音楽芸能カラオケ発表会は395人が参加、11月4日5日の作品展示は466人が参加。11月11日の社交ダンスパーティーは31人が参加。11月5日のチャリティバザーは165人が参加。	総合	10~11月	1 自由参加	午前・午後・夜間	395	395	4 自由参加	午前・午後・夜間						中地区公民館使用団体連絡協議会	
	32	定期使用団体研修会	公民館利用についての意見交換会と次年度の定期利用の説明会を開催。11月11日に実施。	成人	11月					1	午後							
	33	サークル体験学習会	公民館の定期使用団体(サークル)の活動の活性化のため、強化月間を設けてサークル体験会を開催し、新規会員の募集を行う。	総合	3月					60 自由参加	午前・午後・夜間						中地区公民館使用団体連絡協議会	
	34	自主グループ育成事業	公民館の定期使用団体(サークル)の新規会員募集を支援するため、サークル体験会の実施について広報や助言等を行う。	総合	随時	2 自由参加	夜間	平均 2.5	5	11 自由参加	午前・午後・夜間						中地区公民館の定期使用団体	
合計						422			1,152	6,741	345							

平成29年度事業実施状況(中間報告 10月末現在)

石山地区公民館																	
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~10月)				今後実施予定(11~3月)		連 携				備考	
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア		
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	お互いさまネット石山	高齢化によって発生する地域の問題を把握し、コミュニティ協議会を中心にした支え合いの地域づくりを目指す。	総合	5~6月	一部公開講 5 連続講座	午前・午後	173	173	5 連続講座	午前・午後			○		石山管内4コミュニティ協議会	
	2	「すごぼり」の桜並木を歩こう(4/15雨天中止)	コミュニティ協議会等と連携し、地域コミュニティ活動の活性化及び地域の子どもとおとなの交流を深める機会とする。	総合	中止									○	○	南中野山小学校区コミュニティ協議会、同校PTA、東区社会福祉協議会 他	
	3	親子で笹団子づくり	郷土料理である笹団子の調理を通して、地域の子どものおとな、また子ども同士、おとな同士が交流し合う機会とする。	総合	6月	1	午前	40	40	1	午前		○	○		南中野山小学校区コミュニティ協議会	
	4	ご近所だんぎ	地域で支えあうまちづくりを考える。地域の課題を解決できるよう、テーマを決め、皆で話し合いを行う。	総合	4月~3月(12月除く)	7 自由参加	午後	平均53.1	372	4 自由参加	午後				○	ご近所だんぎ世話人(東区地域住民)、東区社会福祉協議会	
	5	茶の間の学校同窓会	前年度、少子超高齢社会がもたらす不安と孤立を解消する「地域の茶の間」をテーマに地域の居場所づくりやお互いさまの人間関係を学ぶ「茶の間の学校」に参加した受講生のその後の活動成果を発表し、交流をはかる。地域活動のヒントをみつける。	総合	8月	1	午前	22	22			○		○		地域包括ケア推進課、実家の茶の間	
	6	石山地区芸能まつり	石山地区公民館利用団体のみならず、地域で活動する音楽・芸能団体が日頃の学習の成果を発表することで地域住民への文化の還元にもつなげる。	総合	5月	1	午後	150	150						○	石山地区芸能まつり実行委員会	
	7	ファインダーのこっこ側(【夏編】・【秋編】・【冬編】)	カメラや写真等のメディア(ツール)を通じ、撮影等で人とコミュニケーションをとることのおもしろさや、被写体となる地域の自然そのもののすばらしさに気づく。	総合	7・11・2月	1	夜	54	54	2	夜						
	8	コミュニティ講座(IshiyamaいいねLIFE)	話し合いの場を初回に設け、参加者同士の交流を図る。他に地場産素材を使った食や地域の風景・人を題材とした写真などの講座により、地域や人の魅力を見つけ活かす機会をつくる。	総合	5月~6月	3	午前	15	33	3	午前	○				○	石山図書館
	9	紙ヒコーキ選手権	江南小学校を会場に子どもから大人まで自分でつくることのできる紙ヒコーキを通じて世代をこえた交流の場をつくる。	総合	11月								○	○		江南小学校区コミュニティ協議会、江南小学校	
	10	さきがけ秋の木工塾~小鳥笛などを作ろう~	参加者に体験から学ぶ機会を提供するとともに、参加者並びに来訪(見学)者との相互交流を図る。	総合	9月	1	午前・午後	73	73								
	11	TAMiさんのドタミファンランド音楽会	参加者に音楽を楽しむ機会を提供するとともに、参加者並びに来訪(見学)者との相互交流を図る。	総合	9月	1	午前	85	85								
	12	minaさんとつくるワクワクバルーンアート	参加者に気軽に作品作りを楽しむ機会を提供するとともに、参加者並びに来訪(見学)者との相互交流を図る。	総合	9月	1	午前	20	20								
2. 学・社・民の融合	13	ふれあいスクール公民館出前型(ふれあい教室(お茶))	学校を会場に、公民館と学校が協働して講座を開催することで、地域住民との交流やふれあいのきっかけとする。(東中野山総合学校文化祭ふれあい教室でのミニお茶会)	成人	10月	1	午前	36	36					○	○	東中野山小学校、学校支援ボランティア	
	14	学・社・民融合の学校出前講座(夏休みお楽しみ物づくりの会)	学校を会場に、公民館と学校、地域住民が協働し、工作等の地域の達人が小学生に教えることで交流をはかる。(フロッピー等の小物づくりやペニア板ペイント)	少年	8月	1	午前	25	25					○	○	東中野山小学校、学校支援ボランティア	
	15	地域と学校パートナーシップ事業	学校施設における保護者と地域住民交流やふれあいのきっかけづくりを目的に、校庭の花壇整備と採取したラベンダーを使ってポプリをつくる。講師として、公民館から活動協力員を紹介。	成人	7月	1	午前	5	5					○	○	石山中学校、活動協力員	
3. 家庭の教育力向上	16	乳児期家庭教育学級(第3期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりになる連続講座を開催する。	成人	10月~11月	1 連続講座	午前	26	26	5 連続講座	午前	○				石山地域保健福祉センター	
	17	幼児期家庭教育学級	幼児の保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催する。	成人	9月~10月	3 連続講座	午前	55	55						○	保育者	
	18	子育てサロン「りんごランド」	ホールを使い、0歳から未就園児までが思い切り体を使って遊べる親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	4月~3月	7 自由参加	午前	平均27.9	195	5 自由参加	午前	○			○	石山地域保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ	
	19	子育てサロン「いちごランド」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換や仲間づくりの場とする。	総合	4月~3月	12 自由参加	午前	平均23.3	280	9 自由参加	午前				○	ぐりとぐら、石山地域保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ	
	20	おはよう朝ごはん料理講習会	地域住民や子どもたちを対象に、栄養バランスを考えた料理講習会を開催し、早寝早起き朝ごはん運動を推進する。	総合	8・11・12月	1 毎回募集	午前	24	24	2 毎回募集	午前		○	○		江南小学校区コミュニティ協議会、牡丹山小学校区コミュニティ協議会、木戸地域コミュニティ協議会	
	21	保育者日程調整会	保育室運営のため、保育者と、情報交換や日程調整の会議を開催する。	成人	4・8月	2 毎回募集	午前	21	21								
	22	石山あそび隊	工作やレクリエーション、調理など様々な体験活動を通じて、子どもの豊かな心を育む。	少年	7~8月	3 毎回募集	午前・午後	69	69							○	
4. 青少年の生きる力育成	23	キッズHIP HOP	ダンスの練習を通じて、異年齢の子ども同士の交流を図る。また、ステージで発表することで自信や達成感につなげる。	少年	7~10月	7 連続講座	午後	115	115							○	国際音楽エンタテインメント専門学校
	24	青少年の居場所づくり	公民館の談話室を、子どもたちが安心して遊びや勉強等ができる「居場所」とし、交流のできる場とする。	総合	通年	207 自由利用	午前・午後・夜間	平均12.4	2560	140 自由利用	午前・午後・夜間						
	25	学習室開放事業	公民館の1室を学習室として開放し、個人学習の支援をはかる。	少年	通年	207 自由利用	午前・午後・夜間	平均2.5	512	140 自由利用	午前・午後・夜間						

平成29年度事業実施状況(中間報告 10月末現在)

石山地区公民館																		
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~10月)				今後実施予定(11~3月)		連 携				備考		
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア			
5. 高齢者の学習・社会参加支援	26	アクティブシニア ベルビックヨガ	シニア世代の生きがいづくりのため、身体を使う軽運動などの連続講座を開催する。	総合	11~12月					4	午後							
	27	遊わ塾 みんなでカーリンコン	頭や体を使ってストレスを分散でき、生きがいとネットワークづくりも図れるような趣味講座を開催する。	高齢者	6~7月	4	午前	36	127							○	活動協力員	
6. 現代的課題	28	石山文学講座(万葉集に関するもの)	地域住民の教養・趣味がひろがるような講座として開催する。また、継続して取り組めるよう、サークル活動化を支援する。	成人	1・2月					2	午前					○	企画委員	
	29	働く世代応援講座(働き女子の美活いろは)	職場と家との往復以外の人間関係を築き、普段利用しない世代の方たちが公民館を訪れるきっかけとする。身体とこころを癒すとともに、学んだことを仕事や暮らしに活かす。	成人	11~12月					4	夜間							
	30	暮らしが変わるかたづけ術	かたづけを学ぶことで「時間」「お金」「心のゆとり」を持ち、人との繋がり・交流を促進する。行動変容を促し生活の質(QOL)をあげる。	成人	12月					2	午前							
7. その他	31	公民館へいってみよう！ ～イシヤマ初夏のカン(館)まつり～	住民の公民館デビューのきっかけづくり、公民館定期利用団体(サークル)の活性化を目的に、サークル体験会を開催する。	総合	7月	1	午前・午後・夜間	231	231						○		石山地区公民館利用団体連絡協議会	
	32	定期利用団体リーダー研修会(中止)	定期利用団体の運営や公民館の利用方法についての研修会を行い、公民館活動の活性化をはかる。	総合	未定												石山地区公民館利用団体連絡協議会の臨時役員会・総会開催のため中止	
	33	第38回文化祭	定期利用団体の作品展示や音楽芸能の発表会を通じ、学習の成果を地域に発表することで学びの還元をはかる。	総合	9~10月	1	午前・午後	1,443	1443			○		○			石山地区公民館利用団体連絡協議会、東区プラザ	
	34	石山地区野球大会	野球大会を通じ、健康増進をはかり、石山地区管内で活動する団体の親睦・交流・連帯意識を深める。	総合	7月	1	午前・午後	325	325						○		石山地区野球連盟	
	35	自主グループ育成事業	事業共催により、自主グループの活動育成と支援をはかる。	総合	随時	12	午前	83	320	3	午前・午後				○		石山地区公民館利用団体連絡協議会	
	36	3(トリプル)スロー健幸教室 (東区健康福祉課・石山地区公民館シェイクハンス事業)	スローフード・スローライフ・スロートレーニングをテーマに、シニア世代の生きがいや健康づくりのきっかけとする。 (東区健康福祉課とのW主催事業(関係経費はすべて同課が負担))	高齢者	1~2月					4	午後	○						東区健康福祉課、石山地域保健福祉センター
	37	協議会共催事業 [明治の新潟史講座]	新潟の歴史のおもしろさやすばらしさ、学ぶことの楽しみを知るとともに、講師や参加者の相互交流により学びを通じた新たな出会いや関係づくりのきっかけとする。	総合	5~10月	5	午前	118	341						○		石山地区公民館利用団体連絡協議会	
38	協議会共催事業 [私の筋肉活性化講座]	参加者に寝たきりにならないためにどうすることが良いのかを理論と実践で提案し、講師や参加者の相互交流により学びを通じた新たな出会いや関係づくりのきっかけとする。	高齢者	10~11月	1	午後	29	29	2	午後				○		石山地区公民館利用団体連絡協議会		
合計						500		3,392	7,761	338								

平成29年度事業実施状況(中間報告 10月末現在)

木戸公民館																	
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~10月)				今後実施予定(11~3月)		連 携				備考	
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア		
2. 学・社・民の融合	1	三世代交流音楽芸能祭	木戸地域の小・中学校・PTA・コミ協、地域の芸能団体が協働し、音楽・芸能をおして三世代の交流を図る。	総合	11月	0				1	午前・午後				○		木戸地区音楽芸能文化祭実行委員会
3. 家庭の教育力向上	2	子育てサロン「木戸っこくらぶ」	自由遊び・公民館活動サークルのボランティアによる絵本の読み聞かせ等のプログラムで、子育て中の親の情報交換と交流をはかる。	総合	通年	7	午前	16	16	5	午前						利用団体ぐりとぐら
合計						7		16	16	6							

## 東区公民館 H30年度予算案概要

## 【歳入】

(単位:千円)

区分	館別	H29 ①	H30 ②	増減②-①		備考
				金額	(%)	
使用料	東区計	2,423	作業日程・方針未定			貸館使用料
	中	1,118				
	石山	1,170				
	木戸	135				
雑入	東区計	403				コピー機・ 印刷機の 使用料
	中	177				
	石山	226				

## 【歳出】

(単位:千円)

区分	館別	H29 当初 ③	H30 当初 ④	増減④-③		備考
				金額	(%)	
維持 管理費	東区計	9,334	作業日程・方針未定			中・石山・ 木戸の 管理委託費、 審議会経費等
	中	3,735				
	石山	5,599				
事業費	東区計	2,721				事業実施の ための経費
	中	1,748				
	石山	973				

## 平成 30 年度事業に関する委員提案

(大桃委員)	
事業名 (仮称)	アクティブシニア健康づくり
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者登山</li> <li>・歌声喫茶</li> <li>・料理教室</li> </ul>
目的・趣旨	高齢化社会の中、定年退職したシニア世代の健康寿命を延ばすために、公民館の果たす役割は大きいです。シニア世代に公民館にきてもらい、公民館の活性化をはかるために、「健康づくり」などシニア世代の関心のある魅力的な事業を実施すべきです。
公民館から	<p>中地区公民館では、今年度、総踊り体操を取り入れた「老化ストップ！健康づくり体操」を実施しました。また「ちいきのサロン」枠で、誰でも参加できる歌声喫茶やバスツアー「大人の社会見学」、健康体操等を実施しています。増加する高齢世代に向け、今後も積極的に事業を行っていきます。</p> <p>石山地区公民館では、今年度「カーリンコン」、「ペルピック・ヨガ(骨盤矯正・体質改善)」、「私の筋肉活性化講座(協議会と共催)」、「トリプル・スロー(東区健康福祉課と共催し体組成、血管年齢・骨密度の測定・減塩調理・睡眠についての学習+各回に運動を取り入れた講座)」を開催。次年度も引き続き東区健康福祉課との共催ができないか働きかけを行います。</p>

(菟澤委員)	
事業名 (仮称)	新潟の有名企業を訪問しよう
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28の「大形ぼてっ子サークル」のところで発言しましたが、大学生などのボランティアにも協力してもらって「新潟の有名企業を小中学生が訪問して地元を知る」という内容です。企業の方からぜひ来てもらいたいというところもたくさんありますし、米菓企業などではお菓子ももらえます、大学生には人材育成、子どもたちには地元の産業を学ぶという学習ができます。</li> </ul>
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校には企業から「ぜひ来てもらってうちの業務に興味を持ってもらいたい」という依頼が複数来ています(もちろん無料)。しかしカリキュラム上、もうどこにも入れられないというのが現状です。公民館さんと連携できれば子どもたちが地元を知り、郷土に対する愛情も生まれます。</li> </ul>
その他補足説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニッポーボー新潟、東北電力火力発電所(バスを出してくれるそうです)などから見学依頼の要請が来ています。</li> <li>・市教委などに最初にそのような依頼が来て、学校規模に応じて割り振るそうですので学校支援課などに問い合わせるとよいかも知れません。</li> </ul>
公民館から	大形地区、下山地区の子どもたちを対象にした中地区公民館の「大形ぼてっ子サークル」の中で開催を検討します。

(遠見委員)	
事業名 (仮称)	特にありません



(井上委員)	
事業名(仮称)	ネェちょっと僕の、私のお話聴いてくれるかな？
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識の確認</li> <li>生きる力を引き出すには大人としてどう考え、どう対処したらよいか</li> <li>・「CAP・プログラム」により、劇などを通じて理解を深める</li> </ul>
目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ被害による自殺」「虐待により、傷つけられ命をうばわれる事件」が後を絶ちません。</li> <li>・子どもが様々な暴力(虐待・いじめ・痴漢・誘拐・性的いやがらせ)から、身を守るために、怖い目にあったことを話せる子どもが信じてくれる大人であるには、何ができるか、どうしたらよいかを考える。</li> </ul>
公民館から	<p>今年度、中地区公民館の「小学生期家庭教育学級」で、CAPおとなワークショップを実施しました。アンケートでは受講者全員から共感した、実践してみたい、復習したい、等の感想が寄せられました。</p> <p>人権関係の講座開催は公民館として今後も継続していきます。</p>

(丸山委員)	
事業名(仮称)	男のセカンドライフセミナー
内容	1.60代から始めるカラダづくり 2.地域の宝再発見(福祉バス利用による地域を知るツアー) 3.男の簡単料理(そば打ち等) 4.コミ協・自治会の活動について紹介 5.農業体験 6.相続に関する簡単な法律知識 7.やさしいエンディングノートの作り方 8.思いつき雑談デーなどメニューを多くして選択参加も認める
目的・趣旨	団塊世代が大量に現役を卒業しています。いろんな事業をやっても女性の応募が多いが男性の参加が少ない。現役を卒業して一旦家に籠るとそのまま(2014年内閣府の意識調査では60歳以上の人で「生きがいを十分感じている」人は15%(5年前の調査より半減))・高齢者の健康に問題発展します。「何かしたいがきっかけがない」そんな人達を「楽しく自然に参加できる」「役に立つ」「友達のできる」「地域デビューのきっかけになる」講座を企画してみませんか
その他 補足説明	<p>1.「石山地区公民館」で5年前に実施した「男のセカンドライフセミナー」はその後自主事業「石山ヨカクラブ」として継続(地域の情報交換や勉強会、小旅行、そば打ち年3回、ボランティア)活動しています。・きっかけづくりとして検討を。</p> <p>2.公民館へ行ってみようDay! は公民館の敷居を低くして広く住民に集まっていたく良い機会であり、また自主グループの励みにもなるので前期後期年2回位の実施があっても良いのでは?</p>
公民館から	<p>中地区公民館では、今年度、地域を知るまち歩きや昔話などの講座を実施しました。東区みらいサポーター養成講座ではボランティアへのきっかけづくりを行いました。来年度も引き続き実施したいと思います。来年度はこの他に、新たなアクティブシニア講座を企画したいと考えています。</p> <p>石山地区公民館では、前述のとおり今年度シニア向けに特化した運動系の4事業を開催。また「ご近所だんぎ」や東区みらいサポーター養成講座の中で、ご提案の健康講座や地域デビュー・疾病予防などを学びました。その中でカーリンコンはサークル化できました。</p>

	<p>来年度も、地域発見講座(東区の歴史+食文化)や大人の部活(主に男性向けの手仕事)・遊わ塾(主に女性向けの手仕事)を開催したいと考えています。</p> <p>公民館へ行ってみよう Day!は、参加団体から「活動日ではない日曜日に開催しても体験者の加入に結びつかない」という要望があり、今年度から「月間」として任意の日で開催しました。体験講座からの会員加入の成果もあったことから、この形で来年度も開催する予定です。</p>
--	--

「30年度 アクティブシニア事業」企画案氏名 丸山 昇一

1. タイトル : 「56歳から考える・・・ こだわり人生セミナー」(セカンドライフの達人 養成講座～10 年先の自分探し)

2. 対象者 : 50代以上の男性(アクティブシニア世代)

回	日時	テーマ	内容	学習方法	講師
1		セカンドライフのマネープラン	セカンドライフのライフイベントとマネープラン (1) 第二の人生に必要な資金はいったいいくら? (2) 第二の人生、今の保険で大丈夫 (他 遺族年金はどうなるの? 等)	～(家計プランの作成)	専門家
2		男の料理教室	(1) 男の簡単手料理 (2) 簡単おつまみ	料理実践	栄養士
3		3大疾病の予防策	(1) 病気になりにくい 食事と生活 (2) 病気になりにくい メンタルヘルス	専門家の講演 (公開講座)	医師
4		健康講座	(1) 健康チェック(血管年齢・骨年齢・物忘れ・肌年齢) (2) 健康指導と薬の上手な飲み方等の講座	測定器でチェック 測定後受講	専門家
5		自分の為になる「地域デビューのすすめ方」	(1) 地域参加のメニュー紹介 (2) 地域で活躍している人の話を聞く (講師より地域参加者の募集)	市より案内 事例紹介	市職員 地域で活躍している人
6		私の趣味自慢	番外編 懇親会(1～2回)で披露		
7		趣味の講座	パソコン、デジカメ、仏像作り(1回で出来るもの) (2回目位にアンケートを取って講座内容を定める)		
8		知っていますか? 新潟市の防災対策	新潟市の災害対策説明	市より案内	市職員

4の健康講座は石山公民館任意団体「石山ヨカクラブ」でも実施済みで大好評でした。測定器を持ち込んで無料で測定・指導をしてもらえます。(丸山がコネクションあります)

(高橋委員)	
事業名(仮称)	いきいき健康づくり
内容	食の面から健康を学ぶ 自宅で長生きする健康運動 最新の新しいスポーツを楽しむ 美容から健康を学ぶ(メイクアップ)
目的・趣旨	公民館利用の多い60歳前後や退職したばかりのデビューに向け、人気の高い「健康」に焦点を置き、楽しんでもらうことを考えて。
公民館から	石山地区公民館では今年度、ご近所だんぎ・トリプルスロー・遊わ塾で上記のいきいき健康づくりの内容を実施しました。来年度も同様に取り組みたいと思います。

(小浜委員)	
事業名(仮称)	ナイトイン公民館
内容	夕方に若い方を中心とした企画がありました。それに近い公民館に足を向けてい

	ない世代にスポットをあてた企画が欲しい。
目的・趣旨	今の30, 40代, 50代もいずれ退職世代になり、家に居ることになりますが、その前から公民館デビューをすることで今後の公民館活動を一緒に引っぱってってくれる人材になり得ます。
公民館から	中地区公民館で来年度、20代～30代の若者を対象にしたユースセミナーを企画したいと考えています。仕事を持っている年代なので夜間の開催となりそうです。 石山地区公民館では今年度、「ファインダーのこっち側」を年3回夜間に開催。20代から80代まで幅広い年齢層の方に参加いただきました。また同じく夜間の「美活いろは塾」では30代から60代までの働く女性が参加し、公民館活動を知ってもらえるきっかけとなりました。次年度も働く世代応援講座として、夜間講座を開催予定です。

(石井委員)	
事業名(仮称)	移住者支援のための事業・講座
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域(中地区)の紹介</li> <li>・街歩き</li> <li>・情報交換のための座談会</li> </ul>
目的・趣旨	他県あるいは外国から当地域に移住してきた方に対し、地域の情報を提供し、住民としての安心感や連帯感を持ってもらうことを目的とするもの。
その他補足説明	移住者を支援している団体(ハッピーターン等)との協働も考えられる。
公民館から	中地区公民館の「地域のたから再発見事業」で、今年度「山の下今昔まちあるき」を実施し、歴史初心者向け講座「東区のなりたち」等を実施予定です。来年度も、地元写真家の写真展など積極的に展開します。その際、移住者という観点も持って計画したいと思います。

(津野委員)	
事業名(仮称)	昔からの遊びをみんなでやろう!
内容	こまやけん玉、あやとり・お手玉など昔からの遊びを大人から子どもまでみんなで楽しもう!地域の名人からお父さんお母さんも教えてもらったりちびっこ名人をめざしてみるのはいかがでしょうか?また人気が出ている将棋も大人と子どもで対局するなんてどうでしょう。
目的・趣旨	小学校低学年で地域のボランティアの方から昔の遊びを教わったりしていますが、年々教えられる方が減っている気がします。久々にやってみたらできた。逆に子どもから教えてもらうなど一緒にやることで新たな発見があったり交流があったりするのでは…。大人の方もこれなら教えられるよーとボランティアへのきっかけになるのでは?
その他補足説明	異年齢交流にもなるので良いのではと考えました。
公民館から	中地区公民館は今年度、山の下・桃山コミ協と共催し、昔のおもちゃづくりの高齢者スタッフの養成を行い、小学生対象のおもちゃづくりの講座を実施しました。高齢者、小学生ともに楽しく有意義な時間を過ごせました。ご意見を踏まえ、来年度の事業を企画いたします。

## 公民館運営審議会正副議長会議の開催状況

参加者: 8 区の運営審議会正副議長, 基幹公民館長, 生涯学習センター所長ほか

## 【第 1 回】

○日時: 平成29年11月14日(火)午後2時00分から

○会 場: 横越地区公民館 2階 研修室 B

○内容

## 1 開 会

・各館長・委員より自己紹介

## 2 意見・情報交換

## (1) 公民館の現況について (中央公民館長)

・施設数、職員数、利用状況、予算等  
・質疑応答

## (2) 講座の受講者の費用負担について(中央公民館長)

・説明(中央公民館)  
・西新湊オープンカレッジについて説明(坂井輪地区公民館長)  
・意見交換

## (3) 今後の公民館のありかたについて(中央公民館長)

・意見交換

## (4) その他報告等

・小針青山開館20周年について説明(坂井輪地区公民館長)  
・豊栄地区公民館移転について説明(豊栄地区公民館長)  
・峰岡・漆山 2 図書室廃止について説明(巻地区公民館長)

## 3 閉 会